

△市内米軍施設に係る主な経過について

◆（加納委員） まず、私ども特別委員会で視察したり、委員会で情報を確認し、質問いたしますけれども、例えば旧深谷通信所の検討会の模様は我々はよくわかっていない。書面で御説明いただいた中でのキャッチボールなので、今後の問題として、もうちょっと情報を委員会のメンバーを含めて出すべきではないかとお願いしておきます。

次に、2ページの2番の現地の状況の（1）のア、土壤汚染調査とあります。アスベストやPCBはわかりましたが、文章的に有害物質による汚染の有無を確認していますというのは、土壤汚染調査から先ほど言ったアスベストとかPCBを指しているのか、それ以外にもあるのか確認します。

◎（青木基地担当理事） 1点目の情報提供につきましては、オープンにしている情報は、委員の皆様方にも情報提供しております。

2つ目の土壤汚染調査につきましては、アスベストと2ページの2の（1）のウについては、建物とか施設のアスベストやPCBでございますけれども、アの土壤汚染については土の部分の土壤汚染、例えば鉛だとかそういったものの調査を今現地でやっている状況を示しております。

◆（加納委員） 有害物質による汚染の有無を確認していますというのは、そういったことの確認をしている調査という意味なのか、調査をして何か出てきたのか、どちらですか。

◎（青木基地担当理事） 何かあるかもしれないので、その調査をしているということで、現在進行中でございます。

◆（加納委員） 現時点では有害物質は何も出てきていないですね。

◎（青木基地担当理事） 今調査中でございますので、まだその結果の報告は受けておりません。

◆（加納委員） 4ページの先ほど1月20日と1月28日、それぞれ現地で検討会が行われて、農業振興ゾーンと土地活用ゾーンの御説明をそこでされたのでしょうか。

◎（青木基地担当理事） まだゾーン案は提示しておりません。1月20日、28日の説明会は、それ以前の勉強会的な要素でございます。

◆（加納委員） それから、2番目の現地状況の（2）の防衛省による各種調査等で、（ア）の土壤汚染調査の件です。米軍の図面や防衛省の資料などの公的な文献、資料等をもとに机上調査を行いましたと書いてあるけれども、その結果どうだったのか。

◎（青木基地担当理事） 防衛省は1月21日、1月22日に地権者を対象に文献調査の結果を説明しております。

◆（加納委員） その下のイの平成28年度に防衛省が行う予定の各種調査等で、（ア）に土壤汚染調査云々、汚染区域を絞り込みますと書いてある。1月21日と22日の説明会で地権者からの情報によると、その種の資料が配られ、それについての説明もあったと聞いています。その事実とどのような資料が配られて、どのような説明だった

のか教えてください。

◎（青木基地担当理事） 説明会は、土地を借り受けている防衛省が、土地の権利者である地権者の方に説明した中身でございますので、詳細をこちらで御説明するのは控えますが、基本は文献調査によって、土壤汚染のおそれと比較的多いという分類と、土壤汚染のおそれが少ないという分類と、土壤汚染のおそれがないという3つの分類に図面が表示しております、それに基づいて地権者の方々に御説明しております。その資料自体は、個人の資産にかかわることでもございますので、説明会が終わった後には回収されております。

◆（加納委員） きょういただいた資料によると、米軍の図面や防衛省の資料などの公的文献等をもって机上調査を行った。さらに1月21日と22日に地権者に説明したときには、3種類図面として示された。そこで、この地域は3種類のうちの1つと示されて、地権者の方たちにはそこでお示しがあったという確認でいいですか。

◎（青木基地担当理事） 説明会に出られた地権者は御理解されていると思います。

◆（加納委員） そうすると、平成28年度に防衛省が行う予定のA、汚染区域を絞り込むという文言と、1月21日、22日に出した資料の3種類の区域とどう違うのですか。

◎（青木基地担当理事） 文献は、あくまでも昔の写真や図面をもとに土壤汚染のおそれが比較的多いとか、そういう分類をした図面上の話です。こちらのイの（ア）は、現地でそれを確認するという意味です。ですから、図面上は恐れがあったけれども、現地できちんと調査をして、恐れがないということもございます。そういうことを絞り込みをしていくという意味でございます。

◆（加納委員） 僕からいうと、紛らわしくて不安をあおるようなものです。とりあえずそういう説明があって、図面や資料では3種類の地域、それをもとにして、これから土壤調査を実質的にしっかりやっていただきたいと思えます。

次に、5ページのウドですが、この流れは御説明もいただいたのでよくわかっていますが、まだ調査は実質的にやってなかったのですか。

◎（青木基地担当理事） 今年度の調査については既に実施しております。

◆（加納委員） その実施したデータの状況で何かわかったとか、それをもとに具体的にこうするというものは何かあるのですか。

◎（青木基地担当理事） 環境創造局で対応しておりますので、詳細な中身については勉強不足で把握しておりませんが、これらのデータを踏まえて、現地で農家の方々と議論を進めていると聞いております。

◆（加納委員） 最後に、花博の件ですが、予算研究会の中で道路局から新たに予算の中に上瀬谷を含めた広域的な道路の調査のお金がついていると御説明いただいて、私も質問をしましたがけれども、一方で新聞報道の発表もあり、いろいろな流れの中で花博の話題が進み、基地対策としては、きょういただいたペーパーに書かれていることをもとに、地権者としっかりとやっていくということですが、道路局は花博をやる場合を想定して、あの周辺の広域的な交通の状況の調査に入るという趣旨の予算が計上されている。東名の横浜、町田からのアクセスや保土ヶ谷バイパスも含めてなのかと聞いたら、そうだという話をされていましたがけれども、そのことは知っていますか。

◎（小林政策局長） 私のほうは、博覧会のためということではなくて、旧上瀬谷通信施設の広大な土地利用を今後どうしていくか、その場合においては、基盤的な道路を中心に検討すると把握しています。

◆（加納委員） 今の御答弁、それから将来的にそうした選択肢もある中で、確かに広域的な道路網の調査等もしなければいけない。それから花上委員がおっしゃったように、しっかりやらなければいけないということと、一方、もしかしたら大型イベントが国を挙げてということも踏まえながら、両刀を使うわけにもいかないでしょうけれども、なるべく全庁的にスピード感を持ってやっていただきたいと要望します。